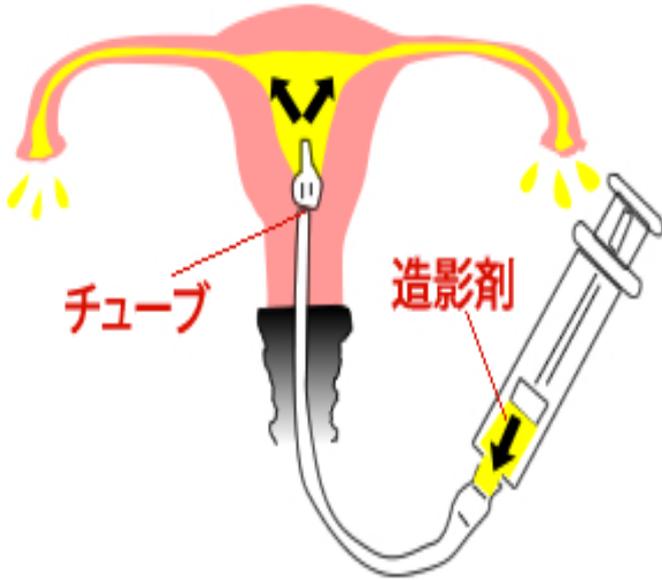


子宮卵管造影検査について

卵管は精子と卵子が授精する場所であり、自然妊娠にとって重要な臓器です。何らかの原因により卵管がつまってしまうと妊娠することが難しくなります。



子宮内の状態や主に卵管が通っているかどうかを判断する検査です。子宮の入り口に風船付きのチューブを入れ、そのチューブから造影剤を流し込みます。経過をおって撮影することにより、造影剤がどこまで流れ込むかで診断をします。卵管に問題がなければ、お腹の中に造影剤が流れ出て検査終了です。

時期：生理終了直後～

予約：月曜日～土曜日

時間は曜日により異なりますので、受付及び予約システムにてご確認ください

所用時間：30～1時間

費用：保険適応ですが15000円程度

(子宮が大きく、造影剤の量が通常以上必要な場合は2万円程度)

必要な物：昼用ナプキンを1枚ご持参ください

卵管造影は“痛い”というイメージが定着していますが、検査自体が痛いわけではありません。卵管の通りが悪い場合に痛いことがあり、検査過程で痛みが増強する時は検査を中止します。

子宮卵管造影検査の同意書

予約日時 月 日 :

造影剤を使う検査のため、非常にまれにアレルギーを起こし、処置が必要となる可能性があります。卵管造影検査の必要性とその内容を理解し、納得したうえで、検査を受けることに同意いたします。

尚、検査当日は検査前の食事を食べずに、また衣類はスカートでお越しくください。

平成 年 月 日

ご氏名 _____